

いわぬまアシスト



須藤 功

入札

問 前回の12月議会で指摘した入札の件で、市長は岩沼市の落札率が近隣の市町と比べ高いということとは認識を示した。われわれが開催した議会報告会で、市民から市長の政治姿勢に触れる問題ではないかと問われている事案である。入札検討委員会での検討を伺う。

副市長 入札制度検討委員会を開き、再開に向けては休止中に新たに発出された国の通知を踏まえ、新たな制度として平成30年度中に実施したいと考えています。

問 いつから実施するのか。

副市長 年度半ば前には固めたいと思います。

問 総合評価方式を再開したことにより、高い落札率は解消できると考えるのか。

副市長 総合評価方式を再開する意味は、高い落札率を低くするためということではありません。

問 郵送や電子入札に改める考えはないのか。

副市長 現時点で郵送及び電子入

札について、実施する考えはありません。

問 できない理由は何か。

副市長 電子入札を行うには役所側、事業者の双方に必要な環境整備が必要になります。

問 最低制限価格を撤廃して調査価格を導入してはどうか

副市長 低入札価格調査制度をあ

落札率が高いのは正当か

わせて行うことになっています。

問 他市町より高い落札率が正当だと、今でも思っているか。

総務部長 岩沼市の入札は、適正に行われているという認識です。

問 ほかの自治体は95%や、90%、92%、宮城県も95%をはるかに下回っている。なのに高いのは正当だと思っているか。

総務部長 市役所は正当だという認識です。

問 こんなに高いのに市長は満足しているのか。

市長 満足ではないが、適正に行われていると思います。

陸上競技場等

問 陸上競技場は公認の陸上競技場に改修するのか。

教育長 公認は考えていません。

問 公認にしない理由は何か。

教育長 陸上競技場の目的は市民の健康増進。その目的にかなった施設として（公認を）とらないと

いうことです。

問 陸上競技協会に公認をしないことを伝えたのか。

教育長 公式には伝えていません。

問 市民の健康と言っているのであれば、運用している陸上競技協会に話をしながら進めていくのが行政ではないか。なぜしないのか。

教育長 市の施設です。非公式ですけれども、意見を聞きながらやってきました。公認にこだわらなければありません。

問 昨年9月議会で、陸上競技場に経済効果は期待していない旨の市長答弁があった。この答弁は今

でも変わらないか。

市長 経済効果を生み出す施設ではないと申し上げたつもりです。

問 宮城スタジアムは2019年7月から2020年10月ぐらいまでに東京オリンピックのために使用できなくなる。陸上競技場の公認で大会が開催できる場所は、仙台市、栗原市、そして角田市の3つしかない。競技関係者からすれば、岩沼市の競技場は仙台市に次いでトイレ、多目的グラウンドの施設が充実している。経済効果はあると思うがどうか。

市長 公認コースとか制限が加えられた大会を開くために投資することは、今は考えていません。

◎その他の一般質問

- ・ 亀塚第一住宅跡地
- ・ 都市計画道路と雨水排水対策
- ・ 市長選出馬

会派所属議員

- 植田美枝子、須藤 功、大友 健